

橋本 広大 先生

先生のプロフィール

【出身地】

千葉県

【専攻】

刑法

【近年(2~3年)の担当科目】

刑法総論 A・B、ベーシック・ミドル・アドバンスド (プログレッシブ) 演習、外書講読 (英語)、海外法文化研究・研修

【最近1番ラッキーだったこと】

2023年通してライブのチケット運が好調!!

橋本ゼミ

【先生の研究内容やそれについての面白さ、難しさなど教えてください！】

最近では犯罪収益規制に研究の重点を置いています。端的に言えば、犯罪により得られたカネをいかにして適切にはく奪することができるかを探究するテーマです。日本では、基本的にこれは没収という刑罰により行われてきましたが、刑罰である以上、有罪判決が必要です。もっとも、組織的な態様で行われる詐欺事案などでは、組織のアジト的な場所から多額の現金が見つかったとしても、有罪判決を得られるのはその一部との関係での犯罪行為についてのみだったりもします。ここで、有罪判決が得られていなくても犯罪収益を剥奪することができる制度(有罪判決に基づかない没収制度)が望まれるわけですが、国際的にはむしろこのような制度を国は持たなければならないという義務的なものと把握されるようになってきています。日本にこのような制度を導入するには、これまで刑罰として没収を位置づけてきた伝統や常識に切り込まなくてはなりません。そのあたりが理論的に難しく興味深いテーマだと感じています。

【先生が1番難しいと思う刑法の分野は？】

難しいと思うテーマは色々ありますが、以前から難しいと感じているのは責任能力です。そもそも、刑法における責任という概念が、刑罰を本質的に基礎づける非難と密接に結びついているわけですが、この非難というものがやや漠然としていますよね。また、責任能力の具体的判断の内実は、精神医学の知見もないとしっかり理解することは難しそうですし、それに加えて実務的なニーズも高く、責任能力に関する、より高度の研究の蓄積が望まれているという点で、研究テーマとしては難易度が高そうだと感じています。

【先生のゼミ生について思うことはありますか??】

基本的にみなさん真面目でしっかり地に足のついた議論ができていると思います。他人へ

の思いやりや尊重の意識も当たり前を持っていて、ゼミの時間だけでなく、イベントや懇親会も良い雰囲気だと感じています。

【学生時代の失敗談、それを経て学生に言うべきことをお教えください！】

失敗談というほどでもありませんが、もっと色々なアルバイトをしてみればよかったというのを、社会人になってから友達と話すことがあります。私は大学時代、基本的には個別塾の講師のアルバイトしかしておらず、それを長く（大学院時代含めて6年間）続けたことも良い経験でしたが、他方で、社会人になってからだと他の仕事もしてみたいと思ったら基本的には転職という形をとることになるので、ハードルがやや高いですね。その点、アルバイトだと色々とチャレンジしやすいという面があるように思います。

【先生の大事にしている言葉を教えてください！】

言葉というより考え方ですが、身近なことでよいので、やりたいことを早め早めに行うということだと思います。例えば、アルバイトを始めてみる（変えてみる、増やしてみる）、興味のあるスポーツをやってみる、読んでみたかった本を読み始める、などです。東日本大震災で（私は大学1年生でした）、身近な関心を行動に移せる機会・状況は貴重なものと認識したのですが、コロナ禍でそれを再認識しました。

【先生が「おもしろい」とか「変だな」と思う刑法の条文はありますか？】

あえてあげるとすれば、外患誘致罪を定める刑法81条でしょうか。「外国と通謀して日本国に対し武力を行使させた者」とありますが、そもそもこのような行為が可能なんってどれくらいいるんでしょうね。

★ プログレッシブ演習 橋本 ゼミの実態！（2023年度ゼミ生 25名）

★ 橋本 先生のトリセツ

優しい。まじ優しい。物腰柔らかく、丁寧に説明してくれます！若い先生なので、生徒とも気が合いやすく、冗談を言い合ったり、プライベートな話も多いです。
お酒が入ると饒舌になり、たくさん話すしかわいくなります。
ピアノが弾けます。なんでも出来ちゃいます。

日々や休暇中の課題

【日々の準備、課題】

・報告資料の作成
(4-5人で1グループになり報告するので、みんなで仕事を分担する形になります！)

【長期休暇課題】

・特になし。

活動内容

【ゼミのタイムスケジュール】

・担当者からの報告
(30分程度)
・先生や生徒からの疑問点
(20分程度)
・報告者からの問いに対するディスカッション
(50分程度)